【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第４区分
【発行日】令和2年1月9日(2020.1.9)

【公開番号】特開2018-66053(P2018-66053A)
【公開日】平成30年4月26日(2018.4.26)
【年通号数】公開・登録公報2018-016
【出願番号】特願2016-207307(P2016-207307)
【国際特許分類】
Ｃ２３Ｃ　14/04　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　51/50　(2006.01)
Ｈ０５Ｂ　33/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ２３Ｃ　14/04　A
Ｈ０５Ｂ　33/14　A
Ｈ０５Ｂ　33/10

【手続補正書】
【提出日】令和1年11月20日(2019.11.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
蒸着作製するパターンに対応する樹脂マスク開口部を有する樹脂マスクと、金属マスク開口部を有する金属マスクとが、前記樹脂マスク開口部と前記金属マスク開口部とが重なるようにして積層されてなる蒸着マスクであって、
前記樹脂マスクが、樹脂材料を含有しており、
前記金属マスクが、金属材料を含有している、
蒸着マスク。
【請求項２】
前記樹脂材料が、熱硬化性樹脂の硬化物である、
請求項１に記載の蒸着マスク。
【請求項３】
前記金属材料が、鉄合金である、
請求項１又は２に記載の蒸着マスク。
【請求項４】
フレームに蒸着マスクが固定されてなるフレーム付き蒸着マスクであって、
前記蒸着マスクが、請求項１乃至３の何れか１項に記載の蒸着マスクである、
フレーム付き蒸着マスク。
【請求項５】
蒸着作製するパターンに対応する樹脂マスク開口部を有する樹脂マスクと、金属マスク開口部を有する金属マスクとが、前記樹脂マスク開口部と前記金属マスク開口部とが重なるようにして積層されてなる蒸着マスクを得るための蒸着マスク準備体であって、
樹脂板上に、金属マスク開口部を有する金属マスクが積層されてなり、
前記樹脂板が、樹脂材料を含有しており、
前記金属マスクが、金属材料を含有している、
蒸着マスク準備体。

【請求項６】
前記樹脂材料が、熱硬化性樹脂の硬化物である、
請求項５に記載の蒸着マスク準備体。
【請求項７】
前記金属材料が、鉄合金である、
請求項５又は６に記載の蒸着マスク準備体。
【請求項８】
蒸着作製するパターンに対応する樹脂マスク開口部を有する樹脂マスクと、金属マスク開口部を有する金属マスクとが、前記樹脂マスク開口部と前記金属マスク開口部とが重なるようにして積層されてなる蒸着マスクの製造方法であって、
金属材料を含む金属板上に、樹脂材料を含む樹脂板を設ける工程と、
前記金属板に、金属マスク開口部を形成する工程と、
前記樹脂板に、樹脂マスク開口部を形成する工程と、
を含む、
蒸着マスクの製造方法。
【請求項９】
前記樹脂板が、熱硬化性樹脂の硬化物を含む樹脂板である、
請求項８に記載の蒸着マスクの製造方法。
【請求項１０】
有機半導体素子の製造方法であって、
蒸着マスクを用いて蒸着対象物に蒸着パターンを形成する蒸着パターン形成工程を含み、
前記蒸着パターン形成工程で用いられる前記蒸着マスクが、請求項１乃至３の何れか１項に記載の蒸着マスク、又は請求項４に記載のフレーム付き蒸着マスクである、
有機半導体素子の製造方法。
【請求項１１】
有機ＥＬディスプレイの製造方法であって、
請求項１０に記載の有機半導体素子の製造方法により製造された有機半導体素子が用いられる、
有機ＥＬディスプレイの製造方法。